高退協ニュース

No.236
2022年
5月10日
発行
高知高退協
事務局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目1～10
高知城ホール高教組気付
連絡先 TEL 088（822）6822
郵便振替口座01650～2～11893

2022年度高退協「定期総会」

高退協会長あいさつ

川村　喜美

吾人は飽くまで戦争を非認し、
之が防止を絶叫せざる
幸徳秋水　「非戦の碑」

コロナ感染症が心配な中、ご参加いただき、ありがとうございます。

コロナ感染症は依然として、私達の生活を脅かしています。コロナ禍だからこそ、会員相互の交流を工夫し、互いに励まし合っていく取り組みが重要です。ぜひ、身近な会員に声を掛け合って頂きたいと思います。

3月初めの高知新聞に第6波のコロナ感染者の致死率が載っていました。

全国平均・は0・18％。高知県は0・57％で、ダントツの第1位でした。全国平均の3倍です。2位の宮崎県は0・40％、3位の広島は0・35％です。亡くなっているのはほとんど高齢者です。新聞では高知県の高齢化率が高いこともあるが、高齢者施設でのクラスターが多く発生していることが関係しているのではと書かれていました。

高齢者の命を守るための手立ては尽くされたのでしょうか。後期高齢者の医療負担が1割から2割になりました（10月より）。人間の命が大切にされているのでしょうか。

世界では、ロシアがウクライナを侵略しています。ロシアの行為は絶対に許されません。このような状況を利用して、自民党や日本維新の会が「核兵器共有論」や「敵基地攻撃論」を提起してきています。大変危険です。核兵器が多数存在する現在の世界状況で、武力による解決は地球破滅の道です。世界で唯一の戦争被爆国である日本から「核兵器廃絶」「憲法9条を守れ」の声を強く発信すべきです。

参議院選挙も近づいています。「憲法9条」を守るためには私たち自身の頑張りも重要です。「教え子を再び戦場に送らない」この決意を胸に刻みましょう。

歌集「私は生きる」で八坂スミさんは言いました。八坂スミさんが90歳の時、「生きていることが、戦争反対に結び付くのなら、這ってでも生き続ける」

その八坂スミさんが92歳になった時に言いました。「這うこともできなくなった。しかし、手にはまだ平和を守る一票がある」と。

今年、11月には四国ブロック学習交流集会が高知県で開催されます。高退協がその担当です。場所は四万十市です。四万十市出身の幸徳秋水の「非戦の碑」には「吾人は飽くまで戦争を非認し、之が防止を絶叫せざる」と刻まれています。ぜひたくさんの会員のみなさんの参加をよろしくお願いいたします。

本日の総会も皆さんの積極的な意見交流で、会員相互の繋がりを強め、高知県の立憲主義を守る契機となりますようお願いいたします。

2022年度高知高退協役員体制

定期総会において下記の新役員が承認されました。
一年間よろしくお願いします。

会　長	川村喜美
副会長	田中正　飯田清久　野村幸司　上村文香
事務局長	米満敏孝
事務局次長	林博子　小松茂弘
常任委員	三谷隆彦　倉橋楠雄　大川法由記　結城条
	宮地由美　高橋哲也　大島克人　熊沢美郎
監査委員	杉藤尚司　島田清美
顧　問	岡﨑清恵　國松勝　小澤幸次郎

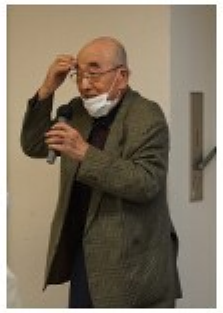
三年ぶりに開催
～退職者を励まし新加入を祝う会

林　博子

「退職者を励まし新加入者を祝う会」が4月23日、高知城ホールで開かれました。コロナ禍で三年ぶりとなる開催。毎日県下の感染状況を確認し、事前に抗原検査キットを準備する等、感染対策に十分配慮して迎えた当日。三密を避けた4階ホールに現退52名が参加してにぎやかで楽しい会になりました。3年分まとめてということで退職者11名が参加、高退協からは19名が出席しました。

花束贈呈の後、畑山さんからの恒例アンパンマンクッキーメダルを首にかけて、一人一人からのメッセージタイム。退職組合員からは在職中の思い出・組合活動を通して仲間がいることの心強さや団結の力を実感してきたこと、新加入組合員からは職場のことや教育実践・組合への期待等それぞれの思いが語られました。

久しぶりに顔を合わせていろいろな話に花が咲き、思わず時間を忘れそうなひと時でした。今年度こそ学習会等行事が無事に開かれ、つどい、交流できることを願ってやみません。



高退協定期総会　元気に参加・発言

大島克人さん

退職を迎えたみなさま。
長い間おつかれさまでした。
高退協でもよろしくお願いします

安並正彦さん

笹岡緑さん

中藤美紀さん

熊沢美郎さん

酒井賀世さん

竹島久美さん

安芸暢英さん

藤木真由美さん

西内裕詞さん

浜田睦雄さん